

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成30年7月12日(2018.7.12)

【公表番号】特表2017-525253(P2017-525253A)

【公表日】平成29年8月31日(2017.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2017-033

【出願番号】特願2016-575160(P2016-575160)

【国際特許分類】

H 04 N 19/70 (2014.01)

H 04 N 19/30 (2014.01)

【F I】

H 04 N 19/70

H 04 N 19/30

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月4日(2018.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

マルチレイヤビデオデータを符号化する方法であって、

補足強化情報(S EI)メッセージが前記マルチレイヤビデオデータの2つ以上のレイヤに適用されると決定することと、

前記マルチレイヤビデオデータの前記2つ以上のレイヤと関連付けられる複数のインスタンスを有するシンタックス要素を前記S EIメッセージが参照すると決定することと、ここにおいて、前記シンタックス要素の前記複数のインスタンスが、前記マルチレイヤビデオデータの第1のレイヤと関連付けられる第1の有効シーケンスパラメータセットシンタックス構造中の前記シンタックス要素の第1のインスタンスと、前記マルチレイヤビデオデータの第2のレイヤと関連付けられる第2の有効シーケンスパラメータセットシンタックス構造中の前記シンタックス要素の第2のインスタンスとを備える、

前記複数のインスタンスのすべてを同じ値に設定することと

を備える、方法。

【請求項2】

前記シンタックス要素の値が、前記マルチレイヤビデオデータのコーディングされたビデオシーケンスがフレームまたはフィールドを含むかどうかを示す、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記シンタックス要素の値が、前記マルチレイヤビデオデータのコーディングされたビデオシーケンスに対するソーススキャンタイプを示す、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記シンタックス要素がfield\_seq\_flagシンタックス要素を備える、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記シンタックス要素がgeneral\_progressive\_source\_flagシンタックス要素を備える、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記シンタックス要素が general\_interlace\_d\_source\_flag シンタックス要素を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記方法が、ワイヤレス通信デバイス上で実行可能であり、前記ワイヤレス通信デバイスが、

前記マルチレイヤビデオデータを記憶するように構成されるメモリと、

前記メモリに記憶されている前記マルチレイヤビデオデータを処理するための命令を実行するように構成される 1 つまたは複数のプロセッサと、

前記マルチレイヤビデオデータを送信するように構成される送信機と  
を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記ワイヤレス通信デバイスがモバイルネットワークデバイスであり、前記送信機が、  
セルラー通信規格に従って変調されたデータとして前記マルチレイヤビデオデータを送信  
するように構成される、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

マルチレイヤビデオデータを符号化するための装置であって、

補足強化情報 (S E I) メッセージが前記マルチレイヤビデオデータの 2 つ以上のレイ  
ヤに適用されると決定するための手段と、

前記マルチレイヤビデオデータの前記 2 つ以上のレイヤと関連付けられる複数のインス  
タンスを有するシンタックス要素を前記 S E I メッセージが参照すると決定するための手  
段と、ここにおいて、前記シンタックス要素の前記複数のインスタンスが、前記マルチレ  
イアビデオデータの第 1 のレイヤと関連付けられる第 1 の有効シーケンスパラメータセット  
シンタックス構造中の前記シンタックス要素の第 1 のインスタンスと、前記マルチレイ  
ヤビデオデータの第 2 のレイヤと関連付けられる第 2 の有効シーケンスパラメータセット  
シンタックス構造中の前記シンタックス要素の第 2 のインスタンスとを備える、

前記複数のインスタンスのすべてを同じ値に設定するための手段と  
を備える、装置。

【請求項 10】

前記シンタックス要素の値が、前記マルチレイヤビデオデータのコーディングされたビ  
デオシーケンスがフレームまたはフィールドを含むかどうかを示す、請求項 9 に記載の装  
置。

【請求項 11】

前記シンタックス要素の値が、前記マルチレイヤビデオデータのコーディングされたビ  
デオシーケンスに対するソーススキャンタイプを示す、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 12】

前記シンタックス要素が field\_seq\_flag シンタックス要素を備える、請求  
項 9 に記載の装置。

【請求項 13】

1 つまたは複数のプロセッサによって実行されると、前記 1 つまたは複数のプロセッサ  
に、請求項 1 - 8 のうちのいずれかに従った方法を実行させる命令を記憶した、コンピュ  
ータ可読記憶媒体。